

令和 3 年度 事業報告

令和 3 年度は、東北デスティネーションキャンペーンや「平泉の文化遺産」の世界遺産登録 10 周年、「御所野遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録、三陸沿岸道路の全線開通などの好機に恵まれたが、長期化した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度に引き続き観光業界にとって苦難の一年であった。

当協会においても、ホームページやオンラインを活用した情報発信や説明会開催など柔軟な事業運営に努めたところであるが、観光庁の宿泊旅行統計調査による令和 3 年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の令和元年と比較すると大きく下回る結果となった。また、外国人観光客についても、いわて花巻空港の国際便運休や入国制限のため、本県の外国人延べ宿泊者数は前年を大幅に下回った。

こうした状況の中、当協会では、大都市圏向けに教育旅行などの誘致説明会をオンラインにより開催したほか、沿岸地域へ県外旅行会社を招待し、商談会・意見交換会を実施した。

このほか、タイムリーな季節の話題や各種イベント・キャンペーンの情報はもちろんのこと、県内自治体の宿泊助成情報をホームページで一元的に提供したほか、最新版の観光案内図の配布や観光従事者向けの接遇研修などに取り組んだ。

さらに、国際観光の分野では、北東北三県・北海道ソウル事務所において、オンライン商談会を開催するなど、コロナ後の誘客再開に向けて紹介宣伝を行った。

その他の事業においても、県・市町村及び各観光協会や観光関係団体と連携し本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の拡大に取り組んだところであるが、コロナ収束の見通しが依然立たず、3 年連続で厳しい年度末を迎えることとなった。

I 観光宣伝紹介

1 観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光情報総合サイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種イベントや桜等の季節の情報はじめ「世界遺産御所野遺跡特集！」や、TVアニメ・サザエさんのオープニングに登場した観光スポットを掲載するなど、インターネットを通じた情報発信を行ったほか、県内自治体による宿泊助成事業の一元的な情報提供に努めた。

また、バナー広告を募集し掲載した。(4-6月 11社、7-9月 10社、10-12月 7社、1-3月 6社、延べ34社)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アクセス件数 (対前年度比)	2,886,628件 (29.1%増)	2,683,117件 (7.1%減)	2,714,039件 (1.2%増)



絶品!いわてのお酒特集 →



スキー場&お湯っこ特集 →



御所野遺跡特集 →



いわての紅葉&日帰り温泉特集 →



いわて雨たびスポット →



桜特集 →

旅の特集ページ

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光情報総合サイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

(3) パブリシティ^{*1}有効活用事業

東日本大震災津波等からの復興支援や、「いわてに泊まって巡って、癒し旅キャンペーン」の広告宣伝として、タウン誌等を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
R3.11	タウン情報誌7誌 (アキュート12月号ほか)	25万部(東北6県及び栃木県)	・「行こうぜ!岩手 いわてに泊まって巡って癒し旅」 冬の観光情報の紹介
R3.11	旅情報誌「遊人」 (12月・1月号)	3万部(九州)	・「縄文遺跡と伝統工芸と水族館&宝石 岩手県の旅」 御所野遺跡、浄法寺塗、もぐらんぴあ、久慈琥珀等の紹介

(4) 観光宣伝媒体作成事業

平成30年度から情報更新を重ねて発行してきた岩手県観光案内図の全面改訂を行い、新たに「いわて旅の地図」(33万部)を作成し、観光客等に広く配布した。



表紙



いわての世界遺産・いわて満喫モデルコースページ

(5) 観光キャラクター活用事業

本県のPRキャラクター「わんこきょうだい」のグッズを配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

・販売数	わんこきょうだい缶バッジ	321個
	わんこきょうだいラバーストラップ	4個
	そばっちぬいぐるみ	123個
	そばっちぬいぐるみストラップ	970個
	そばっち着ぐるみ帽子	7個



協会内の販売コーナー

II 国内観光客の誘致促進

1 国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏からの誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京及び大阪・名古屋圏の旅行会社の担当者等を対象とした観光客誘致説明会をオンラインで開催し、本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行ったほか、県内の観光・宿泊施設等との商談を通じて旅行商品の造成を促し、本県観光地の知名度向上を図った。

会場	実施日	参加状況
東京オンライン商談会	R3.11.9	旅行会社11社25名、岩手県側34名
大阪・名古屋オンライン商談会	R3.11.16	旅行会社14社20名(大阪8社11名、名古屋6社9名)、岩手県側34名



オンライン商談会

(2) エージェント*2 招待事業

沿岸地域の旅行商品の造成及び販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行会社を招待し、沿岸地域の景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との意見交換会を行った。

実施日	招待者	主な視察先等
R3.10.25 ～10.27	2社5名 (株)阪急交通社、(株)ブレーン・スタッフ仙台	久慈市（琥珀博物館）、三陸鉄道乗車体験（久慈駅～普代駅）、田野畑村（北山崎、北山崎観光船）、岩泉町（龍泉洞）、宮古市（学ぶ防災ガイド、浄土ヶ浜）、山田町（復興まち歩きつまみ食いつア一体験）大船渡市（かもめテラス、穴通磯）、陸前高田市（東日本大震災津波伝承館）

・意見交換会 2回 岩手県側 27名参加（10月25日14名、26日13名）



視察の様子

2 教育旅行の誘致促進

(1) 教育旅行誘致促進事業

コロナ禍による教育旅行の延期や方面変更等を検討している学校や旅行会社からの問い合わせに対応するため、「いわて教育旅行相談窓口」による本県の教育旅行に関する情報提供を行った。また、旅行会社への訪問活動を実施し、本県の教育旅行コンテンツ*3のPRや教育旅行の実施動向等に関する情報収集を行った。

なお、本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである東京都等において教育旅行誘致説明会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での説明会に代えてオンライン形式で開催した。

ア いわて教育旅行相談窓口の設置

- ① 相談受付件数：116件
- ② 相談者内訳：学校17件、旅行会社95件、その他4件
- ③ 相談内容：資料請求、震災学習、体験メニュー、実行程などの相談

イ 説明会及び商談会

会 場	実 施 日	参加状況
東京オンライン商談会	R3. 7. 21	旅行会社 3社 8支店、岩手県側 21 団体
北海道オンライン商談会	R3. 7. 28	旅行会社 7社 8支店、岩手県側 22 団体
近畿・中部オンライン商談会	R3. 11. 18	旅行会社 3社 3支店、岩手県側 22 団体
第4回オンライン商談会 (宮城県、山形県、神奈川県、 静岡県、大阪府、兵庫県)	R4. 2. 21 ～ 2. 22	旅行会社延べ 10 社 13 支店 (21 日 6 社 9 支 店、22 日 4 社 4 支店)、岩手県側延べ 31 団 体



オンライン商談会

ウ 訪問活動

実施日	訪 問 先	訪 問 者
R3. 7. 5 ～ 7. 6	札幌市内の旅行会社 (6社)	2名 (教育旅行誘致宣伝部会 幹事団体、同部会事務局)
R3. 7. 7	函館市内の旅行会社 (4社)	1名 (部会事務局)
R3. 11. 25	山形市内の旅行会社 (6社)	2名 (部会幹事、同事務局)
R3. 11. 26	新潟市内の旅行会社 (5社)	2名 (部会幹事、同事務局)
R3. 12. 9	宇都宮市内の旅行会社 (4社)	1名 (部会事務局)
R3. 12. 15 ～ 12. 16	(公財) 全国修学旅行研究協会大阪事務局、 大阪市内の旅行会社 (6社)	3名 (県南広域振興局、部 会幹事長、同事務局)

エ 現地視察の支援

① 学校

実施日	来 訪 者	主 な 視 察 先
R3. 5. 3 ～ 5. 4	神奈川県横須賀市立 浦賀中学校 (3名)	陸前高田市 (東日本大震災津波伝承館、震災遺 構旧気仙中学校)
R3. 7. 24 ～ 7. 26	北海道札幌市立 白石中学校 (4名)	一関市 (狛鼻溪、厳美溪)、平泉町 (中尊寺、達 谷の窟毘沙門堂)、奥州市 (えさし藤原の郷)、 陸前高田市 (ワタミオーガニックランド、東日 本大震災津波伝承館)
R3. 12. 3 ～ 12. 4	関東地区公立中学校修学 旅行委員会 (11名) (一社) 東北観光推進機 構と連携して実施	久慈市～田野畑村 (そばの匠館、震災学習列車) 雫石町～盛岡市 (小岩井農場) 岩手県教育旅行セミナーの開催
R4. 2. 11 ～ 2. 12	神奈川県横須賀市立 浦賀中学校 (3名)	陸前高田市 (東日本大震災津波伝承館、震災遺 構旧気仙中学校) 平泉町 (中尊寺、世界遺産平 泉ガイダンスセンター)

② 旅行会社

実施日	来 訪 者	主な視察先
R3.12.20 ～ 12.22	㈱日本旅行東北（8名） （東北各県）	陸前高田市（eスポーツ ^{*4} 体験）、釜石市（鶴住居復興スタジアム）、田野畑村（北山崎断崖クルーズ）、久慈市（久慈琥珀博物館、久慈市内民泊施設）、一戸町（御所野遺跡）

オ 事前（事後）学習の支援

実施日	来 訪 者	主な視察先
R3.9.17	新潟県立 加茂高校（3名）	教育旅行（10/24～26）の事前学習 震災語り部派遣（オンライン講座）



浦賀中学校(3学年担当)事前視察



浦賀中学校(2学年担当)事前視察



白石中学校事前視察



旅行会社担当者招請 1日目



旅行会社担当者招請 2日目



加茂高校 事前学習

Ⅲ 国際観光の推進

1 外国人観光客への対応

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

岩手県が行った台湾現地イベントの観光ブースにおいて、観光パンフレット等を配架し、県内観光地等のPRを行った。

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際航空便歓迎行事等

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、いわて花巻空港の国際航空便が運休となったため実施しなかった。

なお、花巻空港国際航空便歓迎実行委員会であいわて花巻空港出入口に掲出している各観光地の巻広告修繕を行った。

(2) 外国人観光案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所^{*5}」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

岩手県が行う韓国招請事業に、韓国旅行会社の視察の同行や旅行会社向けの岩手県オンライン観光説明会の参加を通じて、情報提供した。

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を行った。また、韓国旅行会社と観光事業者とのオンライン観光商談会や、韓国旅行会社へのオンライン観光セミナーを開催し、観光資源の紹介宣伝を行った。更に、韓国スタッフによるSNS^{*6}等での発信に協力し、韓国での本県観光地の情報発信に取り組んだ。

ア オンライン観光商談会

実施期間	参加者
R4. 2. 15～3. 14	岩手県側 9 団体、韓国側 7 団体 (4 道県全体 4 道県側 26 団体、韓国側 33 団体)

イ オンライン観光セミナー

実施日	参加者
R4. 2. 24	韓国旅行会社等 37 団体



韓国オンライン観光商談会の様子
(盛岡市内宿泊事業者の商談)

IV 受入態勢の整備

1 来県する観光客への対応

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応した。

ア 苦情等への対応状況（計 9 件）

区分	件数	主な内容
意見	5 件	① 人気アニメを活用した観光振興について ② 動物に優しい岩手のアピールについて ③ 旅館ホテルや商業施設のバリアフリー ^{*7} について ④ パンフレットへの温泉での入浴着貸し出しの記載等について ⑤ 観光とふるさと納税を結び付けた情報発信について

要望	1件	① ホームページ「いわての旅」へのイベント情報の掲載について
苦情	3件	① タクシー乗務員の対応について ② 入れ墨がある者の温泉施設での入浴について ③ タクシー乗務員等について

イ 観光情報等の問合せへの対応

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
観光相談	1,859件	1,776件	1,684件
資料送付	1,251件	890件	869件
合計	3,110件	2,666件	2,553件

(2) 観光情報提供事業（協会「V」案内所運営等）

外国人観光客に対して情報を提供する「V」案内所を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア 観光情報等の問合せへの対応状況（再掲）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
観光相談	1,859件	1,776件	1,684件
資料送付	1,251件	890件	869件
合計	3,110件	2,666件	2,553件

イ うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区分	令和3年度
問合せ別件数	窓口：0件 電話：0件 FAX：0件 電子メール：2件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：1件 印刷物：2件 交通：0件 宿泊：0件 食事：0件 娯楽：0件 生活、その他一般：0件

(3) いわて・盛岡広域観光センター運営

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」での運営経費の一部を負担した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来訪件数	25,964件	8,902件	10,298件
電話・書面	880件	717件	958件
宿泊案内	1,183件	542件	846件

2 観光人材の育成

(1) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドの技術の向上と団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（公財）盛岡観光コンベンション協会、加入団体 35（ガイド団体 23、支援団体 12））の活動を支援するとともに、講演会を実施した。

ア 岩手県ボランティアガイド講演会

- ・実施日 令和3年11月17日（水）
- ・場 所 プラザおでって
- ・参加者 ガイド等 40名
- ・内 容 演題 観光ガイドとリスクマネジメント*8
講師 （有）自然倶楽部 代表 鎌鹿 隆美 氏



講演会 講演



講演会 質疑応答

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体から他の模範とするに足りると認められ推薦された者を優良従事者として表彰した。

※ 岩手県主催の「令和3年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）」と合同で実施。

- ・期日 令和3年5月17日（月）
- ・会場 盛岡グランドホテル
- ・被表彰者 16名（下記のとおり）

	推薦団体名	所属団体名	氏名
宿泊・観光施設関係	一般社団法人 大船渡市観光物産協会	碓石温泉株式会社	鈴木 亮子
	一般社団法人花巻観光協会	花巻温泉株式会社	八重樫 勝雄
	二戸市観光協会	二戸市ふるさと振興株式会社	大森 悦子
	洋野町観光協会	大沢農村振興会 アグリパークおおさわ	大石 弘子 上野 ツセ子
交通機関関係	公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会	岩手中央タクシー株式会社	佐々木 盛光 釜澤 實 吉田 敏美
	滝沢市観光協会	岩手県北自動車株式会社	平 譚 見衣
	公益社団法人 岩手県バス協会	リアス観光株式会社	稲 荷 和彦

その他、 観光関連施設関係	一般社団法人花巻観光協会	一般社団法人花巻観光協会	神山 和子
			及川 美保子
	公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会	公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会	鏡 浩史
			藤澤 徹
			玉掛 典子
			永嶺 庸子



表彰式



記念撮影

3 おもてなしの向上

(1)「おもてなしの心」向上研修事業

本県の「おもてなし」の向上を図るため、県内の観光事業者や団体職員を対象とした研修会を開催した。また、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター^{※9}」を講師として派遣する事業を行った。

ア おもてなしの心向上研修会 初級編

- ・実施日 令和3年11月8日（月）
- ・会場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・参加者 賛助会員 10名
- ・内容 おもてなしの心について
講師 いわて観光おもてなしマイスター

イ おもてなしの心向上研修会 中級編・上級編

- ・実施日 令和3年11月25日（木）午前中級編、午後上級編
- ・会場 盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・参加者 賛助会員、いわて観光おもてなしマイスター 中級編18名、上級編22名
- ・内容 with コロナ時代のおもてなし
講師 一般社団法人日本おもてなし推進協議会 理事長 古川 智子 氏
副理事長 上田 弥生 氏

〃

ウ 接遇研修会講師派遣事業 合計3回

実施日	実施団体	会場	参加者
R3.12.7	久慈市	道の駅くじやませ土風館	観光関係者9名
R4.1.28	軽米町観光協会	軽米町農村環境改善センター	観光関係者12名
R4.3.1	株平泉観光レストセンター	平泉レストハウス	同職員、ガイド等42名



おもてなしの心向上研修会 初級編



おもてなしの心向上研修会 上級編

4 多様な顧客ニーズへの対応

(1) 「いわてバリアフリー観光情報案内所」管理運営

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、協会ホームページ「いわての旅」の「いわてバリアフリー観光情報案内所」ページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

また、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」について、観光関係者に、理解を深め、様々な現場で実践していただくため、研修会を開催した。

- ・相談件数 3件

ア 心のバリアフリーでおもてなし研修会

- ・実施日 令和3年12月16日（木）午前、午後計2回
- ・会場 盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・参加者 賛助会員、いわて観光おもてなしマイスター、観光案内所職員 20名（午前11名、午後9名）
- ・内容 心のバリアフリーでおもてなし
講師 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 三浦 貴子 氏



車いす操作体験



白内障体験

(2)「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年（平成 12 年）に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう 5 月 16 日を「いわて観光の日^{*10}」と定めており、この日を記念して講演会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により首都圏からの講師派遣は取り止め、講演内容を事前録画し会場で上映した。

- ・ 実施日 令和 3 年 5 月 17 日（月）
- ・ 会 場 盛岡グランドホテル
- ・ 出席者 58 名
- ・ 講 演
演題 ワークーション^{*11}の可能性と
新たな旅のスタイル
講師 株式会社 JTB ツーリズム事業本部
地域交流チーム
事業推進担当部長 毛利 直俊 氏



講演会の様子

V 関係団体等への支援と連携

1 関係団体への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加

県や関係機関等が実施する観光イベント等に参加し、観光PRを行った。

実施日	開催地	イベント名称等
R3. 4. 3	盛岡市	東北デスティネーションキャンペーン オープニングイベント
R3. 9. 26	花巻市	東北デスティネーションキャンペーン終了に伴うSL 銀河お出迎え
R3. 12. 18	盛岡市	JR 東日本団体専用臨時列車「巡るたび出会う旅号」お出迎え



東北 DC^{*12} オープニングイベント



SL 銀河お出迎え



巡る旅出会う旅号お出迎え

イ 後援、共催

洋野町観光協会が主催する「ひろのフォトコンテスト 2021～ひろの映え～」など、23のイベント等に対して後援・共催を行った。

2 関係団体等との連携

(1) (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出した。

(2) (一社) 東北観光推進機構事業

東北6県・新潟県・民間団体等で構成する(一社)東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーション^{*13}や教育旅行の誘致活動などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対し負担金を拠出した。

(3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う香港雑誌社等招請事業やタイ旅行会社招請事業などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出した。

(4) 観光宣伝事業等負担

いわての物産展等実行委員会等の観光関係団体等に対し負担金を拠出した。

-
- 1 パブリシティ：マスコミ媒体にニュースや記事として取り上げられるよう働きかける活動のこと。
 - 2 エージェント：旅行代理店、代理業者。
 - 3 コンテンツ：中身、内容。
 - 4 e-スポーツ：エレクトロニック・スポーツの略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。
 - 5 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所）。
 - 6 SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)などインターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のWebサービスの総称。
 - 7 バリアフリー：年齢的特徴、身体的能力、意識的にみられるバリア（障壁）の要素を取り除くことで、高齢者や障がい者も関係なく、誰もが過ごしやすい環境を整えること。
 - 8 リスクマネジメント：企業経営において将来起こり得る収益や損失に影響を与える不確実な事象を管理し、その影響を回避又は低減させる手法。
 - 9 いわて観光おもてなしマイスター：マイスターは「名人」などを意味するものであり、いわて観光おもてなしマイスターは、おもてなしの心と豊富な観光知識で観光客に対応することができる方として、当協会が認定している。
 - 10 いわて観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
 - 11 ワークेशन：「ワーク＝仕事」と「バケーション＝休暇」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地など、普段のオフィスとは離れた場所で休暇を楽しみながら働くスタイルのこと。
 - 12 東北DC：東北デスティネーションキャンペーンの略。2021年4月～9月末まで行われた、東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって実施した大型の観光キャンペーン。
 - 13 プロモーション：商品（サービス）の販売、認知、理解、好感度、ブランド価値を促進させる一切の活動。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の令和3年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。